

# 時局の動向を語る

576

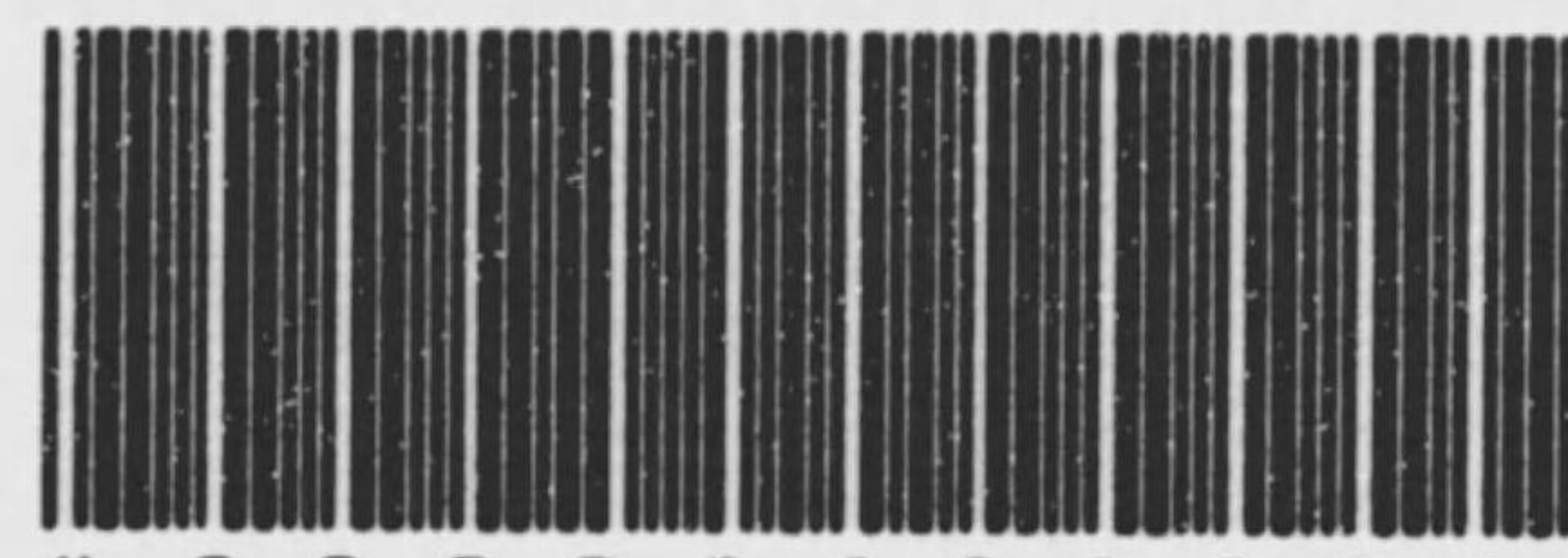
永井柳太郎述



特242  
654

談論社

10



\* 0003240000 \*

0003240-000

特242-654

時局の動向を語る

永井柳太郎・述

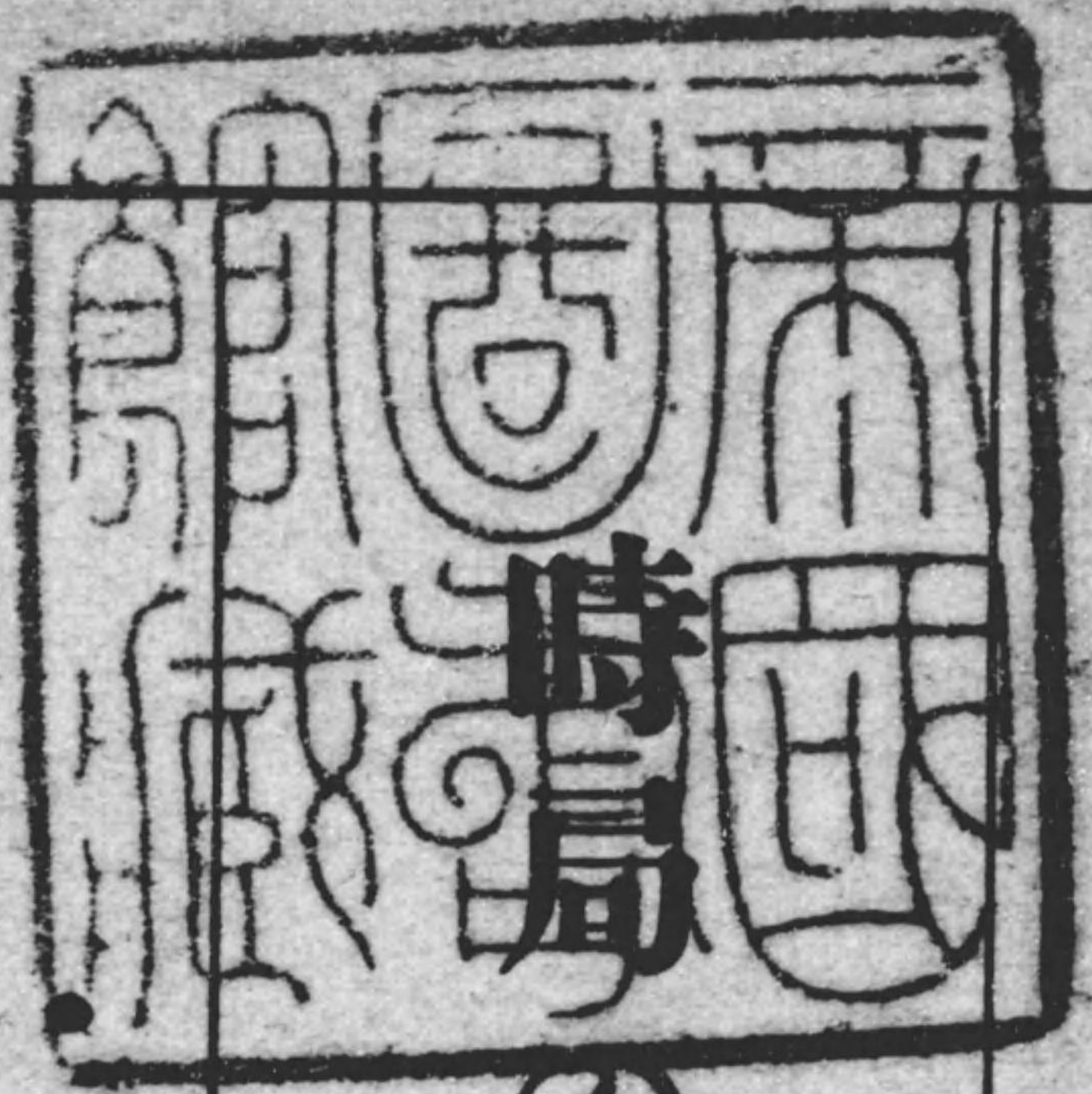
談論社

昭和11

ABA



654



永井柳太郎述

の動向を語る

談論社發行





## はしがき

二・二六事件が、我國國民の各層に與へたる衝撃は、甚大且深刻である。今や國民の衷心より求むるものは、現下時局に對處する最善適正なる方策である。

此の秋に當り、民政黨幹事長永井柳太郎氏の一文を、刊行することが出來たのは、我社同人の欣快とするところである。

本文は、早稻田大學校友を以て組織せる、稻門會に於ける時局談であつて、大衆政治家としての氏が、革新日本に捧ぐる愛國徹志の言は、實に讀む者をして、大いなる決意を喚起せしめずにはおかないであらう。

昭和十一年盛夏

談論社同人



要 項

- 一、政黨の斷面
- 二、政治の貧困
- 三、大衆生活の昂揚
- 四、政治は正義なり
- 五、相剋する政治的主流
- 六、何を改革すべきか
- 七、民族の創意を求む



# 時局の動向を語る

永井柳太郎述

## 政黨の断面

議會で既成政黨と無産黨とが對立してゐるやうに見えます。  
けれども日本の議會に現れてゐる無産黨の思想は、既成政黨の中に於ける思想と、  
その根底に於て大きな相違をもつてをらないやうに私は考へてをります。  
無産黨の中でも一、二の人は大分異つた考へ方をしてゐるやうですが、大多數はソシ



アル・デモクラシーの思想を有つてゐるのではないかと思ひます。

又既成政黨の中にも、嘗て普通選舉を主張し、普通選舉のために闘つたポリタイカル・デモクラシー——ポリタイカル・デモクラシーと云ふても、歐米諸國に於ける意味とは違ふ。大衆主義の意味です——その大衆主義の思想をその儘經濟上に徹底してソシアル・デモクラシーの思想を有してゐるものも少くない。さうして從來の資本主義經濟組織を無批判に固執せんとする者との間に、戦闘を開始してゐる。

勿論、既成政黨が皆さうではないけれども、無産黨の左翼が共産黨の獨裁政治に通じ、右翼が××の政黨否論者に通じてゐるやうに、既成政黨も一部は無産黨に共通し他の一部は資本專制主義の支持者でもあります。だから思想上から見ると、獨り既成政黨のみでなく、無産黨をも包含した全分野を通して、大分解を惹起し、再組織を餘儀なくされるかも知れません。併し今の儘でソシアル・デモクラシーの思想を抱く者

が、大同團結したところで、現在のやうな議會政治の機構、権限、運営で、果して國民生活を救ひ得るか否かといふことについては、私は大なる疑問を有します。

無産黨の如きも、徹底したやうなことを云ふけれども、無産黨が多數を得やうと努力すればする程、色々な利害關係を異にしたものと妥協しなければならなくなつて、

其の結果は無産黨が目的としてゐる所が徹底し得ないやうになりはせんかと考へます。私は常にさういふことを考へつゝ議會で無産黨の演説を聴いてをるので。従て大體から云ひますと、日本は現在のやうな議會政治によつて、日本國民生活の再建設を爲し得るか否か、若し否とすれば議會政治そのものが如何に再建設されなければならぬか、この問題には、既成政黨も無産黨も同様に煩悶し、恐らく同じやうに考へさせられてゐると思ひます。



## 政治の貧困

一〇

今日日本の國民生活が、非常な缺亡を感じてをるといふことは、何人でも否認することの出來ぬ事實であります。陸軍では衛生省の必要を主張するといふことが新聞に出てをります。

最近陸軍軍人から直接聞いた所に依りましても、徴兵検査の不合格者の割合は、昭和元年に一千人中二百五十人であつたが、昨昭和十年には一千人中四百人の多きに達したといふことでもあります。又、日露戦争の直後には、徴兵検査に於て一千人中四十人の結核患者を出し、昨昭和十年には、一千人中四十人の結核患者を出したといふことで、日本國民の身體が漸次病弱となつて、生活能力を消耗しつゝあるといふことを認めざるを得ないといふことでもあります。

けれどもそれは單に、衛生省といふやうなものを作つて、醫療の世話が行届けば、それで根絶すると云ふやうな簡単な問題でないと思ひます。

勿論、今日の醫療の設備は非常に不完全で、約一萬二千に互る全國町村の中で、開業醫を有つてゐないものが、僅か三千四百町村あると思ひます。又、齒科醫を有つてゐない町村に於ては、八千を超へてゐると思ひます。さういふ醫療設備の不完全から國民が受くべき治療を受くる能はず、死亡が増加し、豫防し得べき傳染病を豫防し能はずして、病氣が蔓延するといふことは疑ふことが出來ませんが、一層その深い根底に於て、生活の苦難から起つて來る營養の缺亡、身體の衰弱、殊に開業醫があつてもその開業醫から治療を受けることの出來ない状態にあるものが多數居ることが、その重大なる原因をなして居る事實は、これを否認することが出來ないと思ひます。

それでありますから日本國民の健康を増進するといふ問題は、必然的に國民生活の



再建設といふことに到達せざるを得ないのであります。

日本の犯罪検挙者の増加することも、驚くべきだと思ひます。全国の警察署で年々検挙する犯罪件数が、司法省の報告に出てをりますが、それに依ると、世界戦争の直後大正九年には、一年に約八十萬である。それだけでも驚くべき数です。それが昭和元年になると、百五十萬を超えてをります。それが一昨年昭和九年度の報告を見ると、二百六十六萬となつてをります。實に大正九年から昭和九年迄の間に、犯罪検挙人が、四倍以上に増加してをります。さうしてその犯罪の種類を調べて見ますと、その大部分は財産に關係ある犯罪である。

勿論その中には財産に關係のない犯罪もあります。例へば、性に關するものもありますが、是も考へ方に依ると、生活には密接な關係があるのです。併し單純に性に關する犯罪として考へべきものもあります。又、權力の爭奪を目的とする犯罪もありま

すが、その大部分は強盜・竊盜・詐欺・恐喝・贓物といふやうに、財産の獲得を目的とするものであります。約九割程がそれでありました。かふいふ犯罪の激増に關する統計を見ましても、その根底に深刻なる生活難が、横はつてをるといふことを否認することが出來ない。

勿論、吾々は一方では、苟くも國憲國法を犯す者に對しては、大臣大將と雖、之を捕へて嚴罰に處し、國法の威嚴を維持するといふことが必要であります。けれども同時に、他方に於て勤勞に従事する者が勤勞によつて、その生活を保證され得る新社會を建設することによつて、萬人をして飢ゆることなからしむるやうに、考へねばならぬと思ひます。

かういふ點に於ては恐らく既成政黨たるも、無產黨たるもを問はず、同じ認識を持つてゐるのであらうと思ひます。併し現在の社會組織を如何に再建設すべきかと、云



ふことについての手段に至つては、同じ政黨の中に於ても、色々違つた觀測が行はれてをると思ひます。

### 大衆生活の昂揚

日本では今ナチスとか、ファッショとかいふものが、專制的なものとして攻撃を受けてをります。ナチスもファッショも、その民族に固有の政治形態であつて、輸出さるべき性質のものではありません。それをそのまま國體を異にする日本に輸入せんとする所に、攻撃を受ける十分の理由があります。けれども私はナチスでも、ファシストでも大衆の生活要求に即して、その國民生活を再建設せんとする所に、今日世界の驚異とされる生命があるのだと思つてゐます。

ムツソリーニは、獨裁政治家として攻撃されてをりますが、ファシスト黨は當時存在してをつた如何なる他の政黨よりも、大衆の生活要求に即した政策を引提げてをつたのであります。ファシスト黨の成功は決して單純な獨裁政治の成功ではないと思ひます。ムツソリーニが出現した當時のイタリーの政界は、非常に腐敗してをつて、凡ての議案には「正札」が付いて居るとさへ云はれた。

例へば一つの議案を通すには、二百票を必要とすれば、一票當り五百リラ、合計十萬リラを支拂へば、通過させることを請負ふといふやうに、議場で議論してはなく、取引によつて議案が通過してゐた。そこで凡ての議案は、大衆の生活要求と没交渉なものになり、政治は少數資本家や野心家のための政治となつたのであります。そこでムツソリーニは此等の腐敗した政黨の頭を飛び越えて、直接に大衆と取引したのであります。

ムツソリーニは、直接大衆の生活要求と信するものを提げて、大衆の前に立つた。



大衆はそれを支持し、ムツツリーニは大衆の代表者として満腹の信頼を得た。フアン  
スト黨といへども、大衆がその背後にをらなかつたならば、あれ程容易く既成政黨を  
征服して、今日の地位を獲得することは出来なかつたと思ひます。

ドイツでもその通りであつたと思ひます。ベルサイユ條約で、從來の政黨、殊に當  
時中心になつてをった社會民主黨が、聯合國の壓迫に屈従し、領土を割讓したのみで  
なく、千三百二十億金マルクの賠償金を支拂ふことを、聯合國に約束してしまつた。  
その公約を果す爲に、ドイツ人の生活は破壊され、ドイツでは營養不良で死ぬる兒童  
が、年々七十萬人を超ゆるに至つた。ドイツ人としては、既にそれに堪えられなくな  
つた。そのドイツ人の堪えざる侮辱、ドイツ人の忍び能はざる生活不安から、ドイツ  
民族を解放するがために戦はんとしたのが、即ちヒットラーであります。即ちドイツ  
大衆の生活要求に根ざしてをる戦ひであつたから、ドイツ大衆の支持を受けて、それ

がヒットラーをして、今日あらしめたのであるといふことが出来ます。

諸君もムツツリーニや、ヒットラーの寫眞を御覽になつたと思ひますが、あの  
の前に立つてゐるヒットラーや、ムツツリーニを見ると、如何なる國の議院政治家で  
も、到底及ぶことの出来ぬ、大衆の支持を受けてゐることを感じます。即ち大衆と一  
つ心になつてゐる。一つ心になつてゐるから、何でも思ふ存分のことをさせてくれる  
のです。大衆の支持を受けてをらなければ、如何に多數の軍隊を率ゐてをつつても、又  
如何に嚴格な法律で強制しやうとしても、斷じて行ひ得るものではない。

### 政治は正義なり

私は先年、ブリアンがフランスの總理大臣をしてゐる時に、ヨーロッパに居りまし  
たが、その時フランスでは郵便配達夫がストライキをやりました。ブリアンはゼネラ



ル・ストライキは、効果があるから支持するが、部分向ストライキは、大衆に損害を  
 與へるだけで何等の効果をも擧げない。殊に國民の通信を犠牲とするストライキは、  
 反對であると云ふので、兵士をして郵便配達夫を彈壓せしめんとした。さうして繰出  
 した兵士に郵便物の配達を致さしめたが、田舎から出て來た兵士では、バリーの街が  
 分らず、配達も出來ずまご／＼してゐると、そこへストライキを起した郵便配達夫が  
 來て妨げる。

そこで將校が發砲を命じた。

すると郵便配達夫の群が兵士に向つて云つた。「お前達は何者だ、俺達と同じだ、軍  
 服を着けた労働者ではないか。俺達は平服を着た儘の労働者なのだ。俺達はお前達勞  
 働者の生活の爲に闘つてゐるのだ。お前達はその仲間に發砲することが出来るか」と  
 兵士は遂に發砲しなかつた。その結果郵便配達夫のストライキは成功して、ブリアン

内閣は郵便配達夫に屈した。

かやうに、大衆の支持を受けてをらなければ、如何に多數の軍隊によつてをつても  
 爲し得るものでない。ムツソリーニやヒットラーを見て、力さへあれば、何でも獨斷  
 專行が出来るやうに考へるのは、間違つてゐる。國民の支持を受けないで、如何なる  
 強力内閣もあり得ない。彼等の強いのは、國民と與に戦ふが故に強いのである。そ  
 れでヒットラーとか、ムツソリーニとかの獨裁政治は、假令形態は似て居ても十八世  
 紀の國民と沒交渉な貴族の獨裁政治と、同日の談ではないと思ひます。

さういふやうに、今日の我國に於ける無産黨でも、又既成政黨でも、大衆の生活要  
 求に即して、日本國民生活を再建設せんとすることを、目標として進むものでありま  
 するならば、それは何れの政黨であらうとも、必ず明日の生命を約束せられて居る。  
 勿論、その社會が要求してゐるものを、如何に再建設するかといふ方法の研究に至つ



ては、必ずしも一致し得ないであらう。假へば急進的に實現を計るか、漸進的に實現を計るか、國家社會主義によるか、統制主義によるか、その見る所によつて、幾つかの政黨政派に分れるのであります。けれども國民大衆と與に立ち、國民大衆と與に戦ふものであれば、明日の生命を有する。一君萬民と云ふ建國の精神が、事實に於てその精神に背反するが如き、一切の政治運動の存在を不可能ならしめないでは措かぬと思ふのであります。

相剋する政治的主流

私は今日の日本の政黨を見ますと、大體に於て二つの大きな思想の系統に分れて、行きつゝあるやうに思ひます。それは一つは資本主義經濟組織をその全體に於て、その儘の形態で維持して行かうとする思想であります。それから第二は、資本主義經濟

組織に絶對に反對して、社會主義或は共產主義經濟組織を實現しやうとする思想であります。それから第三は、資本主義經濟組織の全面的破壊を目的とはしないけれども國家の統制によつて、資本主義經濟組織の欠陥を是正し、これによつて國民生活を再建設して行かうとする思想であります。大體かういふやうに、三つの思想系統をおふてをるのであります。やがては現在の政黨も、これらの思想系統に従つて、集散離合せざるを得ないやうになつて來るのではないかと思ふのであります。

今度の特別議會に於ては、餘り重大な問題はなかつたのであります。追々思想上の相違から、同一の政黨内に於ても、猛烈に論争する時代が來ると思ひます。例へて申せば、電力問題の如きがそれだと思ひます。一方では電力の國家管理は、平戦兩時に於ける國民生活の確保の爲には、缺くべからざるものとする思想の流れがあります。勿論その國家管理の方法に至つては、必ずしも同一ではありません。今逋信省は電力



の民有國營と云つてをります。併し民有國營といふことが、一番適當かどうかといふことについては、色々な議論が起つてゐます。

ヨーロッパに於ける、ギルド社會主義者の唱へてゐるやうに、國有民營、即ち電力の權利そのものを國有にして、その經營は民間の經驗ある營業者に委任した方が、生産費も安くなり、労働者に對する報酬も多くなり、消費大衆に對する負擔も少くなるといふ議論もある。

又、現在電力會社の經營してゐるものはその儘にして、未開發の水利權のみを國有とし、且國營として、即ち電力の國有國營にする方が、理想的であると唱へる者もあります。政府が如何なる方法をとるにせよ、兎に角電力を國家管理に移さんとする思想は、儼然と存在してゐるのであります。

所が之に對して、一切の國家管理に反對し、民有國營であつても、國有民營であつ

ても、總て反對だと主張し、矢張り私立會社の私營にさせるべきだと云ふ人があります。即ち私有私營ならば、生産費も安くなる。若し私營會社が暴利を貪れば、國家が之を取締ればよいといふのであります。従つてこの次の通常議會には、恐らく電力問題を回つて、可なりはつきりした經濟思想の對立が現はれ、衝突が起るのでないかと思ひます。かくして思想の對立から衝突が起つて來て、その結果從來の政黨の分野にも、色々變化が生じて來てこそ、政黨の進化があるのだと思ひます。從來のやうに感情とか、行きがゝりとか、そふいふものでなしに、思想系統を中心にして、政黨の集散離合があつてこそ、初めて政黨の合理化・倫理化が實現すると思ひます。

### 何を改革すべきか

次に民政黨の幹事長として、政黨の再建設に關して、どういふ風に考へてゐるか



いふことを率直に話したいと思ひます。民政黨は、大體思想系統からいふと、無産黨に共通の點が少くないのであります。

私自身の如きは、中學では安部磯雄さんに教へを受けたし、大學に行くとき又安部さんに教を受け、英國の大學へも安部さんの御世話で留學し、歸つて來ると今度は、安部さんの擔當して居られた、社會政策の講座を繼承することになつたのでありまして安部さんが私よりも早く、政界に出でて居られたならば、私は何れの政黨に屬してゐたか分らない位です。無産黨でも、共產黨系の階級意識に立脚して、階級闘争のみに没頭するやうなものには、斷じて賛成は出來ませぬが、安部さんの考へてゐるやうな全體意識を基礎として、全國民を一人残らず人間たらしむることを、目標とする社會組織・經濟組織の建設は、大體に於て、私も同様に考へてゐる。

民政黨では、大體三つの事を一年間にやつて見たいと計畫してゐる。その三つの事は何かといふと、一つは政策立黨といふ事です。政黨と大衆との關係は、從來動もすれば金銭的、物質的であつたが、それを根本から改めて、倫理的、精神的とするには政黨自身の掲げて呼號する政策が、もつと大衆の生活理想、生活要求と不可分の關係を持つやうにならなければならぬ。さうしてその政策の目標は、何處に置くかといふと、全體意識、即ち一君萬民の思想に立脚して、日本の立法機構・行政機構・經濟機構を再建設して、外に於ては國家存立の基礎を擴大強化し、内に於ては勤勞大衆の生活保證を實現することではなくてはならぬのであります。

第二は政黨の黨費公募といふ事でありませぬ。黨費は何れの政黨でもその調達に苦んでゐることであるが、大きくなればなる程經濟上の獨立に苦痛を感ずるのであります。そこで、民政黨では新聞でも御覽になつたと思ひますが、黨費公募公開といふことのために、運動を開始したのであります。現在投票數が民政黨には四百五十萬票ありま



すが、その中一割即ち四十五萬票は、責任を以て民政黨を支持し得る人だと推算します。それで、それだけの人に懇へて、一年一圓宛黨費を集めやうといふのです。さうすると、是が約四十五萬圓となります。此の中の半額は地方費或は地方に於ける募集費に充て、残りの半額が黨の經費になるのです。

併しながら、政黨の一番多く要する費用は、選挙費であります。此の點は無産黨の人も苦痛を感じてをられるだらうと思ひます。選挙時の經費が政黨としては一番かゝるので、従來政黨の中でも色々な問題が起つて來てゐる。中には財閥に迎合し、動もすれば利權運動を行ふといふこともある。が然し、かゝることでは政黨獨立の精神を維持することは出来ない。

そこでその點に於ける憂ひを除く爲に、中央の帝國議會の選挙、地方自治體の選挙を通じて、選挙は公營とすべきであると思ふのです。大體選挙は、國家の公事だから

國費を以てすべきだと思ふのです。選挙公營については、改正選挙法委員會で、實現しやうと努力してゐるが、選挙費についての苦痛を除き、經常費・臨時費を通じて、政黨が健全なる經濟的獨立自主の地位を、維持し得るやうになれば、政黨は現在よりももつと大膽に、改革に向つて邁進することが出来るであらうと思ひます。

それから第三には、假令政黨が更生し、權力の爭奪から一轉して、政策の實現を中心として、國民の間に活動するやうになりましたも、帝國議會、即ち貴衆兩院を通じての機構・權限・運営が今日のやうに不完全且不合理な状態にあつては、十分にその政策を實現し、議會政治の機能を發揮することは出来ないと思ひます。よつて今期議會には決議案を提出して、政府に迫り、政府も愈々議會制度改革委員會を組織することになりましたが、この議會制度改革委員會を通じて、應て議會制度の機構・權限、それから議員の資格の如き、全體のことに互つて、改造したいと考へて居ります。



さういふやうに、第一は政策立黨、第二は黨費公募並に選舉公營、第三は議會制度の再組織、さしあたり、此三つをやつて行かう。さうして私は大衆の生活理想並に生活要求に即して、日本再建の目標に向つて、進んで行きたいと考へて居ります。

### 民族の創意を求む

然しサンデカリストが云ひますやうに、議會政治といふものは、究極に於ては妥協政治である。既成政黨は妥協政治をやつてゐると、非難する無産黨でも、當選するためには、一から十まで、何でも自分の云ひたいことを云へぬ場合もある。即ち選舉民と妥協したのである。議會で多數を得なければ、自分の要求を貫徹することが出來得ないから、多數を得なければならぬ。多數を得やうとすれば、利害關係の異つたものとも、妥協しなければならぬ。假令ば加藤勘十君の思想は、他の無産黨の諸君のそれ

とは違ふのでせう。然し一人で頑張つてゐたのでは、發言の機會さへないかも知れぬ他の諸君も交渉團體となるためには、加藤君をも抱擁する。そこに矢張り妥協があるのです。

従つて議會政治は、妥協政治だといふことになります。その妥協政治によつて吾々が議會の組織、議會の権限、それから議會の運営といふやうなものを、吾々の理想とするやうな状態に改造して行くことが、出来るのかどうかといふ疑惑が起ります。若しその妥協政治に依つて、議會政治の機構・権限及び運用といふやうなものを理想化し、大衆化することが出來ないとするならば、何處に吾々は之を理想化し、大衆化し得る手段を發見すべきか。それはやがて起るべき次の問題だと思ふのであります。

書てムツソリトニがミラノに於て、労働者に演説してをる中に意義あることを申してあります。「何の民族の改革でもその民族独自の生活理想並に生活要求を離れて考へ



ることは出来ない。同じカール・マルクスの學說でも、中世からギルドの發達した英國に入つては、英國獨得のギルド・ソシアリズムとなつて現れてゐる。中央集權のドイッに實現せられた時は、ステート・ソシアリズムとなつた。君主貴族の專制政治しか何物も知らないロシアに輸入せられた時は、共產黨の獨裁政治となつた。

イタリーはイタリー民族独自の生活要求と生活理想を有つてゐる。イタリーに於ける生活問題は、そのイタリー独自の生活要求と生活理想に従つてイタリーにのみ行ひ得る革命に依つて實現され得るのだ」と。それは非常に味はうべく、又深く考ふべき言葉だと思ひます。

そこで日本は日本民族独自の生活要求、生活理想に基いて、日本のみが行ひ得る大改革に依つて、日本を再建設しなくてはならぬと思ひます。而してその方法はどうしてやるのか。その方法の實現は何時であるのか。それは吾々各自が眞劍に今考へてゐる

問題であります。私も亦、その問題に解答を與へる爲に、努力してをるといふことが云へます。諸君自身も各々その問題に對して、解答を與へるべく、苦心して居らるゝことと思ひます。

—(了)—



昭和十一年七月二十五日印刷  
昭和十一年七月二十八日發行

時局の動向を語る

定價十錢(送料二錢)

不許  
複製

發賣所

滿陽堂書店

東京市本郷區湯島三組町一番地  
電話下谷二三〇八番  
振替東京七六二六五番

編輯發行  
兼印刷人 大賀駿三

印刷所 三鱗印刷株式會社

東京市下谷區坂町十一番地

發行所 談論社

東京市本郷區湯島三組町一番地



